



18 出店 久夫 「象と少女屏風図」 2018年作 151X356cm 表面

象と少女屏風図は、基図の「コラージュ2018-少女図」のイメージが展開して屏風に成りました。私はかつて油彩画より写真コラージュによる作品に切り変えた折、正・反・逆転した画像にしましたのは、「逆も又真なり」の言葉に道引かれて左右対称、上下反転の作品を作り続けております。

シュールレアリスム絵画より出発した私にとって、単なるシュールレアリスムでは無い絵画、シュールとは何か？現代性を持ち、未来志向の絵、私の内なる心の問いに文として、画面が他者として存在いたし、謎を突き付ける作品を求めた結果です。

屏風は私が幼年時代を過ごした小さな家の薄暗い部屋の隅に置かれていて、その前で遊ぶ、その裏側に何にかかっている様に感じる摩訶不思議な物であることを記憶しています。

その記憶に引かれて、裏面に古和綴本の論語集をコラージュしております。今では読み解く事も出来ず、でも何かその文字の中に言霊の様なものが感じられるのです。

表画面を見てより裏面に回り込んで観賞して下さる様に画面中心に後頭部にお面を付けたダンサーの裏踊り像を舞台廻し者としてコラージュします。それは屏風形体をかりての表裏一体の世界の言迷を感じて下さる事を願って制作なのです。

